

きょうだい
別々の保育園

倉元市議の質問をきっかけに 大幅に改善

福岡市でも深刻な待機児問題。高島市政のもとで昨年度、きょうだいと同じ保育園に入れなかったケースが激増していた問題で、日本共産党の倉元達朗市議の質問をきっかけに、その後市が対応を変え、今年度は大幅に改善されていたことがわかりました。



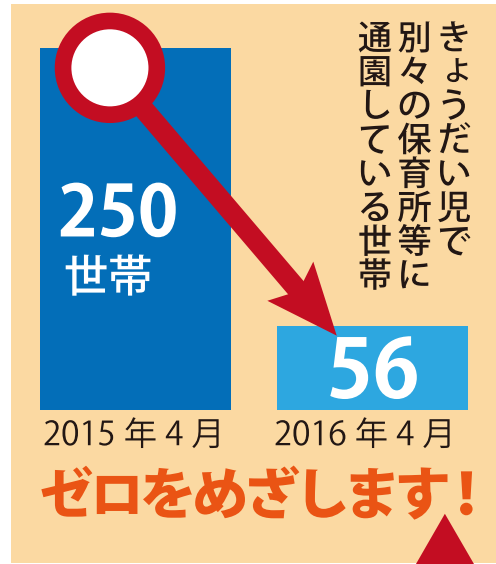
きょうだいが別々!!
高島市政は保育園を抜本的に増やさず、園間の「人数調整」でゴマかしてきました。各家庭の状況を点数にして高い順に機械的に振り分けてきたために、2015年4月には、市内の認可保育施設利用者2万7000世帯のうち、250世帯以上のきょうだいが別々の園になっていました。

議会で改善求める

倉元市議は困った母親からの声を聞き、2015年6月議会でこの問題を追及。送り迎えの大変さや運動会が同じ日になって子どもが犠牲になっていると批判。きょうだい児を同じ保育園に通わせること、足りない認可保育所を新築中心に抜本的に増やすことを求めました。



昨年6月議会



ゼロをめざします!

市が方針見直し

あわてた高島市長は10月6日の定例会見で「なるべく同じ園に行けるようにしたい」と表明。

マスコミでも批判

毎日新聞夕刊(昨年10月2日付、左写真)トップなどマスコミでこの問題が報道されました。



こんにちは
城南
議会報告 2016年8月
日本共産党
倉元達朗
くらもと たつお



このピラへのご意見・感想をお寄せ下さい
発行: 日本共産党福岡市議団 ☎092-711-4734
@kuratatsu0711
ブログ「転がりつづける日々」
<http://jcpf1967.blog.fc2.com>

無料 法律・生活相談会

9月2日(金)
10月7日(金)
午後7~8時
六ヶ町会館 別府 5-4-8

8月17日(水)
9月21日(水)
午後7~8時半
倉元達朗事務所
※移転しました長尾 1-16-19 ☎865-0688

生活保護、相続、訴訟、離婚、借金、架空請求、成年後見、行政相談などお気軽にどうぞ。

参院選で議席倍増させた力を生かし
改憲阻止 戦争法廃止に全力
倉元市議が決意表明

人工島
埋立地「売れた」というが 企業に13億円も投げ渡し
6月議会で追及
ムダやめよ

日本共産党は6月議会で、人工島のみなとづくりエリアの港湾関連用地2.1畝について、「市は『売れた』と自慢しているが、実際には13億2000万円もの立地交付金をつけてようやく売れたにすぎない」と暴露。これを含めると設定単価の7割にもなりません。人工島の埋立事業と破綻救済へのこれ以上の税金投入は許されないとただしました。

熊本地震を受けて

福岡市の防災計画 抜本的な見直しを

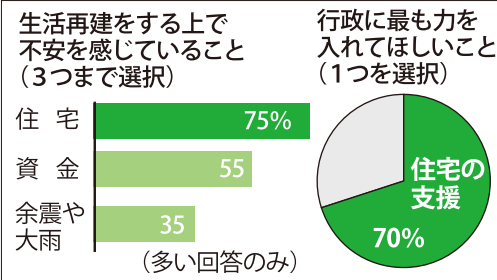
倉元市議に聞く

日本共産党市議団は、熊本地震を受けて現地の被災者支援とともに、福岡市の防災計画・対策の充実を6月議会で求めました。倉元達朗市議が論戦をふり返ります。

市長は生活再建支援金 引上げに背を向ける

熊本では住宅のことが被災者の一番の心配・願いと聞きますが。

倉元達朗 朝日新聞の被災者100人アンケートでもトップが住宅の問題です。日本共産党は住宅再建へ、生活再建支援金を300万円から500万円に引き上げるように要求せよと市長に求めたのですが、応じませんでした。



同趣旨の意見書案も提案したのですが、自民・公明などの反対で否決されました。国会議員と連携して引き続きがんばります。

想定する地震の大きさ、避難者数の見直しを

熊本地震は震度7が連続しましたね。



倉元 福岡市の防災計画はこうした想定をしていません。避難者数の見込みなども少なすぎます。

日本共産党がこれらを見直すよう迫ったところ、市は防災計画の見直しをする と答弁しました。

熊本地震	福岡市の被害想定
震度7が連続	震度6強が1度
熊本市 11万人が避難 (人口の15%)	福岡市 2万5000人が避難 (人口の2%未滿)

建築基準法改正と木造住宅の耐震性能

1981年改正前	震度5程度で倒壊しない
1981年改正	震度7程度で倒壊しない
2000年改正	阪神大震災を教訓に地盤調査、軸組の金具固定、耐力壁バランスを規定



熊本地震での木造家屋の崩壊



住宅の耐震工事助成 拡充を求める

熊本でも阪神でも直接亡くなった方の原因の8割が建物の倒壊だそうですが、福岡市には耐震化されていない住宅もまだ残されていますよね。

倉元 木造住宅だけでも4万5000戸が耐震化されていません。耐震改修助成の補助額(上限70万円)を引き上げるよう求めました。

あわせて、1981年の法改正時の基



熊本地震での被災者支援の募金を訴える倉元市議 (5月)

準(右参照)で建てられていても、専門家の調査では、8割の住宅が強度が足りないとされています。

そこで、81年以後の住宅も助成の対象にするよう市長に求めました。市のホー

6月議会の論戦をふりかえる



ムページにも「耐震上の心配がある」と書いてあることを突きつけると、そのことは認められたものの、助成額や対象の拡大には背を向けました。

玄海原発の再稼働中止を



再生可能エネルギーの視察をする倉元市議 (左端、6月)

熊本地震では道路や橋が寸断され、もし原発事故が重なったら避難できないという不安が広がりましたね。

倉元 そうですね。しかも、福岡市は原発事故が起きたら「屋内退避」をさせる方針なのですが、熊本地震では大きな地震が連続し、家に戻れなくなりました。原発事故の避難方針は破たんしたのです。

日本共産党は、玄海原発の再稼働中止を国・九電に求めるよう市長に迫りましたが、市長は「国が判断すること」と無責任な答弁をしました。引き続き熊本の被災者支援と、福岡市の防災充実にがんばります。